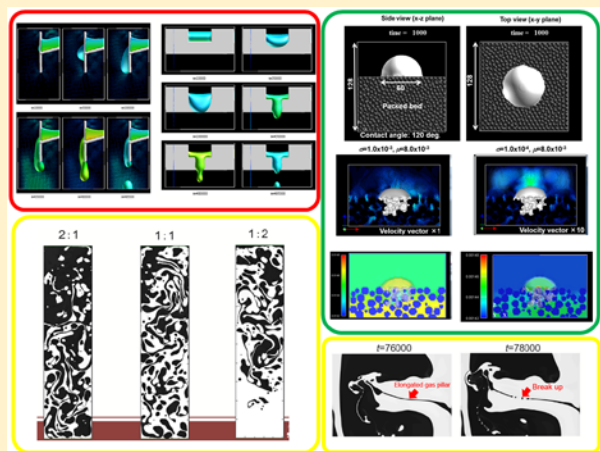


グラフィカルな表現法による複雑現象の理解

連続セミナー 第7回

科学技術に関するコミュニケーションにおいて、グラフィクスは非常に強力なツールの一つです。グラフィクスは、文字や数字だけでは表現が難しい知識や概念の理解を容易にするものであり、さまざまな分野において複雑な現象を理解するために欠くことのできないものとなっています。グラフィクスリテラシー教育研究センターでは、勉強会「グラフィカルな表現法による複雑現象の理解」を立ち上げ、定期的にセミナーを開催し、社会の中に散在する複雑現象の理解に対するグラフィクスの有効性について議論をしています。第7回セミナーでは、福岡大学工学部化学システム工学科の松隈洋介先生にご登壇いただき、格子ボルツマン法が描く混相流の不思議な界面形状についてお話していただきます。



1. 日時 : 2021年11月12日(金) 18:00 ~ 19:30
2. 講演 : 格子ボルツマン法が描く混相流の不思議な界面形状
3. 講演者 : 松隈洋介先生 (福岡大学工学部化学システム工学科 教授)
4. 参加費 : 無料
5. 実施形態 : 対面+遠隔のハイブリッド (参加方法は登録頂いた方にお知らせいたします)

登録方法 : 右の参加登録ページへのリンクもしくは
QRコードから申し込み下さい。

問い合わせ先 : eng-glec@research.kobe-u.ac.jp

参加登録ページ
へのリンク



主催 : 神戸大学大学院工学研究科 グラフィクスリテラシー教育研究センター
共催 : (公社) 化学工学会 SIS部会 ダイナミックプロセス応用分科会
日本図学会 関西支部
神戸大学 V.School